

# 北海道向 耐病性新品種

## ニューデント85日・105日・110日・120日

雪印種苗(株) 札幌研究農場 兼 子 達 夫

本文に詳述されているように、ニューデント系は葉の病害（ゴマ葉枯病）に強い特性があり、特に病害多発地域において利用価値高い新品種です。

ニューデント系は葉色が濃緑色で秋おそくまで緑色を保ち、葉幅広く、整一性が非常に良好な単交配一代雑種（F<sub>1</sub>）です。

また強稈で倒伏に強く、穀実収量も優れており、病害発生の少ない地域でも、全道各地でサイレージ用、子実用として好適する優良品種です。（試験成績は本文参照）

### ■ニューデント85日

- 極早生で短稈、倒伏に強く密植栽培に適する（10a当たり8,000本）
- 道東・道北のサイレージ用適品種



早生系耐病性品種  
ニューデント105日

道央・道南向き耐病多収種  
ニューデント120日

- 十勝・網走・上川の子実用としても適する

### ■ニューデント105日

- ウィスコンシン110日より約5日早生
- 倒伏、病害に強く穀実収量多い
- 十勝・網走・上川北部のサイレージ用  
早～中生系として適する（10a当7,000本）
- 道南の子実用として適する

### ■ニューデント110日

- ウィスコンシン110日と同熟期
- 倒伏、ゴマ葉枯病に強く穀実収量多い
- 十勝・網走・上川北部の中生系として、また道央・道南の早生系としてサイレージ利用に適する（10a当6,500本）

### ■ニューデント120日

- ウィスコンシン120日と同熟期
- 倒伏、病害に強く、茎太く長稈で多収
- 道央・道南の高温地域にサイレージ用として適し、特にゴマ葉枯病多発地帯に好適（10a当5,500本）



ニューデント系は軽い霜に会っても  
緑色を保っている。右側ニューデント  
110日（10月22日撮影）